



Interactive Fair for Biodiversity

生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）展示会

COP10生物多様性交流フェア

日本のクマ類の現状を世界へ発信

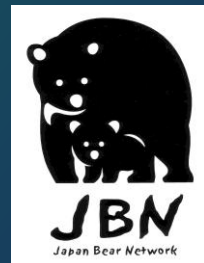
国内のクマ類の現状と生物多様性の関係、絶滅のおそれのあるツキノワグマ
個体群の保護活動の取り組みなどについて紹介します。

期 間:平成 22 年 10 月 23 日(土)から 10 月 29 日(金)まで

場 所:白鳥公園エキスポゾーン(名古屋国際会議場隣接)

出展者:日本クマネットワーク/四国自然史科学研究センター

ブース番号:191



この活動は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施しています。

四国自然史科学研究センターへの支援団体:WWF ジャパン、丸紅株式会社

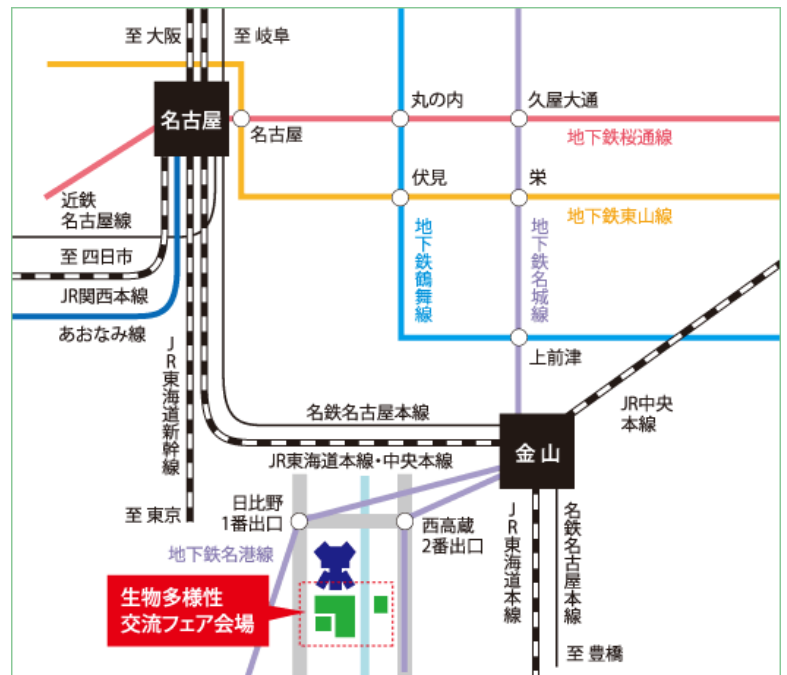
【展示内容】

生物多様性交流フェアにて国内のクマ類と生物多様性の関わり、絶滅のおそれのあるツキノワグマ個体群の保護活動の取り組みについて紹介する写真パネルの展示やクマ・トランクキットを用いた教育プログラムの実演などを行います。

その他にもクマの頭骨や毛皮などの標本展示、日本クマネットワーク（JBN）のグッズ販売、パンフレットや資料配布などがあります。

【会場への交通】

- ・地下鉄名城線「西高蔵」駅2番出口より 徒歩5分
- ・地下鉄名港線「日比野」駅1番出口より 徒歩5分



【ポスターセッションのご案内】

フェア開催中に名古屋学院大学体育館・2階ポスターセッション会場にて、ポスターの展示もありますのでお立ち寄りください。(10/23 から 10/29 まで)

タイトル：「四国圏生態系ネットワーク形成の実現に向けた現状と取り組み」

内 容：四国では、全国に先駆けて四国圏の生態系ネットワーク構想が策定されました。四国剣山山系には絶滅のおそれのあるツキノワグマやクマタカなどが生息しています。その貴重な野生鳥獣の現状と生態系ネットワーク形成の実現に向けた取り組みを紹介します。

【本展示に関するお問合せ先】

NPO 法人四国自然史科学研究センター 担当：金澤・伊藤

〒785-0023 高知県須崎市下分乙 470-1

電話 0889-40-0840 E-mail kanazawa@lutra.jp ホームページ <http://www.lutra.jp/>

日本クマネットワーク (JBN) ホームページ <http://www.japanbear.org/cms/>